



たはら 2月号

北九州市立田原小学校

校長 長野 智英

【学校教育目標】

心身ともに健康で情操（こころ）
豊かな子どもの育成

◆キャリア教育で、柳井綾音さんが後輩のために来校してくれました。

本校では「総合的な学習の時間」において、夢や希望をもって力強く生きていく力、よりよく生きていく力を育てるため、キャリア教育を推進しています。働き方が柔軟になった現代は特に、大人を見ている子ども達は将来の自分の姿と重ねづらくなってきています。なりたい職業に「Youtuber」がランクインしてくる時代ですので、自分で仕事を見付け出すパイオニア精神がこれからさらに求められるかもしれません。子ども達には、将来の夢をもち、その夢を達成するために今をしっかりと生きてほしいと願っています。そのような生きる力を育成するために、本校では昨年度から外部講師を招聘しています。

本年度は、2月3日（月）に本校の卒業生である立命館大学3年生の柳井 綾音（やない あやね）さんを5、6年生のキャリア教育の講師としてお招きしました。柳井綾音さんは、昨年5月の関西インカレ（学生選手権大会）の10000m競歩で44分21秒85の日本学生新記録をマークして3連覇を果たしています。また、日本の代表選手となり昨夏に開催されたパリ・オリンピック男女混合競歩リレーに出場するほどの実力者であり、日本トップの競歩選手です。

講話では、いろいろな苦勞を乗り越え、たくさんの努力があったからこそ夢を叶えることができたことを具体的にお話ししていただきました。また、子ども達の質問に答えてもらったり、実際に一緒に競歩を行ったりしてくれました。子ども達にとって、自分の生き方を考えるととてもよい時間になりました。

以下は6年生児童の感想になります。（一部抜粋）

今日の柳井さんの話を聞いて、どんなに超えるのが難しい壁でも、何回も挑戦していく度にどんどん上達してきて、いつかは超えられるようになるということを知りました。自分も新しいことに挑戦して自分の得意なことを見付けていきたいです。そのためには、これからも挑戦し続けることが大切だと感じました。

柳井先輩は、努力して何度も失敗したからこそオリンピックに出場したり、自分の夢だった立命館大学で活躍したりする。という目標を叶えることが出来たと思う。柳井先輩から話を聞くと不思議と自分のやりたい夢を叶えたいという気持ちになります。無理だとあきらめるよりも、これからは夢に向かって突き進み、失敗から成功を学んで行きたいです。

柳井先輩の講演を通して、夢はあきらめなかったら叶うと知りました。ただ、それには大変な努力が必要だということも知ることができました。私も本気で薬剤師になるために努力しようと思うようになりました。そして、柳井先輩のように、努力しながら笑顔を忘れないようにしようと思いました。柳井先輩に感謝したいです。

柳井先輩の「失敗しないと成功しない」という言葉が心に響きました。私は、失敗してしまうと「もうできない」とあきらめてしまうことがあります。私も叶えたい夢が見付かったら、柳井先輩のように、あきらめずにつき進んでみようと思いました。柳井先輩から学んだことを忘れずに、これからの生活に生かしていきたいです。

柳井先輩の言っていた「挫折は悪いことじゃない。挫折は成長することに必要な試練」という言葉に心を動かされました。ぼくは、サッカーでケガをした時に挫折を感じましたが、成長に必要なことだったと今は思えます。柳井先輩は、ぼくの姉と同級生で柳井さんはよく笑う人と言っていました。その通りで、話の最初から最後まで笑いが絶えない素敵な人だと思いました。

【今後の主な予定】（予定が変更になる場合もあります。）

- ◆ 2月14日（金）学習参観・懇談会
- ◆ 2月19日（水）クラブ活動（3年生見学）
- ◆ 3月03日（月）6年生を送る会
- ◆ 3月14日（金）第45回卒業証書授与式
- ◆ 3月24日（月）離任式・修了式

個人情報保護のため、
掲載を控えております。

個人情報保護のため、
掲載を控えております。

個人情報保護のため、
掲載を控えております。